

森の子コレンジャー10月活動報告



10月の活動は、8月に調査したどんぐり豊凶の再調査を行いました。8月には小さかったどんぐりがどうなっているのか？ワクワクしながら現地へ向かいましたが、結果は・・・

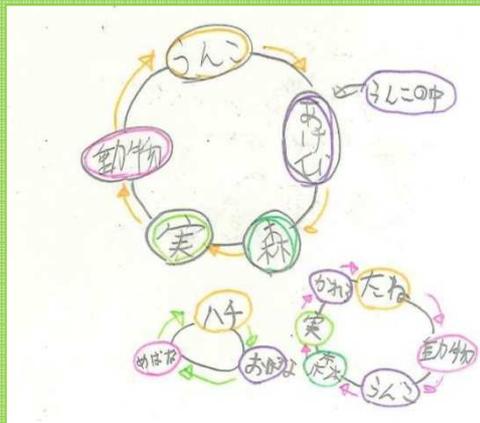
クリは大半の実が落ちており、次いでミズナラ、コナラが地面に実を落としていました。ただアラカシだけは、まだまだ茶色く熟しておらず枝もたわわに実っていました。

地面に落ちたどんぐりの中には緑色の実もあり、強風などの影響で全てのどんぐりが無事に実らないことも知りました。それぞれの木と実とはっぱを見比べ違いを見つけてみたり、来年のために準備している葉芽や花芽を発見したりしました。

みんなで調査結果をグラフに書き込んでふりかえりを行い、どんぐりはそれぞれ落とす時期が少しずつずれていること、どんぐりが森の野生動物の大切なエサとなっていることを学びました。森のどんぐりがそれなりにあれば、野生動物はエサを探すために行動範囲を広げて人里へ下りてき

てしまうことはないといった話から、森と動物と人との関わりを2回にわたって学びました。午後は、きのこ・バッタ・ヘビ・動物のレストラン整備の4つから選び活動し、それぞれのレンジャーから自然の勉強をしたコレンジャーは色々発見したようです。次回は12月！ (かせ)

コレンジャーが書いた活動報告書から一部抜粋しました



特にきょう味をもったこと、学んだこと

ぼんが相手だと、田んぼとおりはもがすまじいことが分かった。

森林レンジャー主催ツアー参加者募集中です！！

森と人とけものこと～自然を昔に戻す会を訪ねて～

日時：11月17日(日) 8:30-15:30 ※雨天実施
集合：武蔵五日市駅(観光協会前) 8:30
解散：武蔵五日市駅(観光協会前) 15:30

※移動は主にバスを利用します。

内容：あきる野の森を調査し、地域と協働の森づくりを行ってきた森林レンジャーあきる野と、午前は、あきる野の森の現状を知る森歩きを行い、午後にあきる野の自然を次世代に残すために様々な取り組み(竹炭や竹酢液の製造・販売、広葉樹の育苗・植樹、森の手入れ、川の水質調査など)を続ける「自然を昔に戻す会」の活動を紹介し、竹炭焼きの見学と作業体験をします。

対象：中学生以上

定員：20名(先着順)

参加費：300円(保険代含む)

実施者：自然を昔に戻す会の皆さん、森林レンジャーあきる野

持ち物：弁当、水筒、タオル、防寒、カップ ※山を歩く服装でお越しください。

申し込み方法：11月12日(火)までに、あきる野市役所 環境政策課

環境の森推進係(☎042-588-5173)に電話で申し込んでください。

※あきる野市のHPでもツアーと森林レンジャーの紹介をしています。





台風の影響で発生した倒木の一箇所(アカマツの枯木)を処理した後に、杉野隊長が一休みする様子(戸倉三山のハイキングコース上)。

今年は、例年より多くの台風の影響で9月から10月の終わりにかけて、秋らしい風を感じる事がほとんどできませんでした。この様に、異常な気候は自然を変えてしまいます。

雨量が多かったため、湿った環境を好む昆虫は再び活発的になり、まだ水が残る田んぼや自然の溜まり水などの場所では、ヤマアカガエルやトウキョウダルマガエルなどが春の産卵期に戻った様に集まり、オスは鳴き声で呼びかけ、交尾できる相手を待ちます。

しかも、今年の紅葉はどのようになるのでしょうか。「強風や大雨は影響を与えるのだろうか」とこれからの紅葉風景を想像しながら、登山道やハイキングコースなどでの台風の影響を確認、または倒木処理するため、巡回の日々が続きました。今年はやはり、倒木が大発生しました。処理した箇所は多数に上りましたが、まだ危険木(枯れ枝など)が残る場所もあるため、これからの秋の山でハイキングを楽しむ際には、よく注意しましょう。

毎回の巡視の中で、自然のさまざまな生物や、季節的なものを調べるのもレンジャーの仕事です。この間は、ロックガーデン周辺でカエデの仲間を調べてみました。カエデ科の葉っぱを確認したら、カジカエデ、エンコウカエデ、ウラゲエンコウカエデ、コミネカエデ、ハウチワカエデ、ヒメウチワカエデ、コハウチワカエデなどの沢山の種類が揃っていました。これらは紅葉の時期で美しい風景を作る木の仲間です。



登山道上の倒木処理

ビフォー

アフター



この季節の大岳山の様子(平成24年11月上旬に撮影)。上高岩山展望台や、馬頭刈尾根の富士見台周辺からは大岳山がよく見える場所で、当エリアのハイキングコース上では、この眺めはおすすめです。

[パブロ]



森っこサンちゃん